

## 第6回 四万十町学校適正配置審議会 議事録（要旨）

1. 日 時 平成20年8月7日（木） 18:30～20:40

2. 場 所 四万十町大正総合支所 大会議室

3. 出席委員（14名）

|     |       |     |       |     |        |
|-----|-------|-----|-------|-----|--------|
| 会 長 | 中平 克喜 | 副会長 | 八木 雅昭 | 委 員 | 窪田 敏宏  |
| 委 員 | 田向 由雄 | 委 員 | 石本 博子 | 委 員 | 森 幸直   |
| 委 員 | 武内 一昭 | 委 員 | 川村 英子 | 委 員 | 伊勢脇 栄子 |
| 委 員 | 田植 昭彦 | 委 員 | 勝間 慎  | 委 員 | 西尾 洋之  |
| 委 員 | 松岡 雅士 | 委 員 | 松本 耕一 |     |        |

4. 欠席委員（6名）

|     |       |     |       |     |       |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 委 員 | 宮崎 勇二 | 委 員 | 宮脇 玲子 | 委 員 | 土居 由美 |
| 委 員 | 山本 桓  | 委 員 | 北村 明三 | 委 員 | 吉尾 之利 |

5. その他出席者

教育長 水間 淳一 高知県教育委員会教育政策課 山岡 彰彦

6. 事務局

教育次長総括 長谷部 文男 生涯学習課長 山本 弘光  
学校教育課（主幹 長森 伸一 主幹 戸田 太郎）

7. 会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事録の調整
4. 検討項目
  - （1）答申（案）の検討について
  - （2）答申方法について
5. その他
  - （1）次回の日程等について
  - （2）その他
6. 閉会

8. 議事

### 1. 開 会

○次長総括より開会のあいさつ

### 2. 会長あいさつ

○会長よりあいさつ

### 3. 議事録の調整

○第5回議事録詳細と第4回公開用議事録を確認し、訂正があれば連絡することを依頼

### 4. 検討項目

## ◎「(1) 答申(案)について」

○答申(案)の「表紙」、「目次」、「はじめに」について

### 【結論】

- ・「四万十町の将来に」を「四万十町の将来を」に訂正
- ・「メリット」「デメリット」というカタカナ表記より日本語表記が適切。
- ・「認識」→「見識」に訂正。合わせて、答申、及び「おわりに」の「認識」も訂正。
- ・その他、提案のとおり。

○「諮問事項に対する答申と建議」について

1. 諮問事項、2. 答申を説明

### 【結論】

- ・「地域のシンボルである学校の新たな配置計画」に訂正。
- ・「おおむね四万十町として望ましい」とあるが、10年、20年先まで考えて審議していない。「現状」か「H26データを元に」というような表現の追加を検討する。
- ・配置計画後、さらに再配置計画を立てるような状況は好ましくない。すぐに再変更とならない状況をつくってほしいという文言を付け加える

○「3. 建議(審議会として付すべき意見)」の(1)、(2)について

### 【説明の概要】

○計画(案)の以下項目の審議結果をまとめて建議としたことを説明。

(1)「町立小中学校の現状と課題」

(2)「4. 学校適正配置計画」

- [4.1 学校適正規模・適正配置の必要性]
- [4.2 学校適正規模・適正配置の基本方針]
- [4.3 学校適正配置計画策定の骨子]
- [4.4 中学校の「現状」と「適正配置の方針」]
- [4.5 小学校の「現状」と「適正配置の方針」]
- [4.6 学校適正配置の全体像]
- [4.7 学校適正配置の実施時期について]

(1)「町立小中学校の現状と課題」について

### 【審議の概要】

- ・複式学級の長所は小規模校の長所と同じ部分もあるし、少人数の単式学級よりは2つの学年が存在することによる社会性、その中で人間関係のつくり方ができてくる長所があると言われている。
- ・完全複式学級だったら偶数学年に入った場合は、必ずその中でリーダーになっていく。そうやって全体6学年の縦のつながりができてくる。そのリズムができた場合、複式学級は非常に子どもを育てるのにいいサイクルで回り始める。そこが長所として小規模校と合わせて言われている。
- ・「複式学級では、授業の半分が自習」という表現は、検討委員会において保護者の意見がそのまま載っている。その認識ではどうかという意味合いもあった。これが審議会の答申としてそのまま横滑りしていくのは疑問を覚えたので意見を出させてもらった。

### 【結論】

- ・提案のとおりとする。

[4.1 学校適正規模・適正配置の必要性]

### 【結論】

- ・特に異議がないので提案のとおりとする。

#### 〔4.2 学校適正規模・適正配置の基本方針〕

##### 【審議の概要】

- ・「10 人からでも適正規模と判断できないか」との意見を審議会の意見として付すべきか。中学校では 10 人以上なら複式学級にはならないため、いいのではないかという見方もあるが。
- ・20 人を 10 人に減らすように再検討せよということではなかったと思う。意見はあったが、検討委員会の方針どおり 20 人以上で考えていくべき。
- ・計画どおり 20 人でいいという意見が出されている。他に意見がなければ、「10 人を適正規模の範囲とするよう検討せよ」という意見は審議会の意見として加えないこととしてよろしいか。
- ・「機械的に学校配置を進めるな」という趣旨であった。そういう趣旨を意見としたい。
- ・それは大事なこと。言われている趣旨を活かす表現があってもいいのではないか。
- ・「また中学校では 20 人以下でも教育効果は上がっている」と言う部分について、「中学校では」とすると小学校はどうなのかとなる。教育効果が上がらない学校はあり得ない。だから 20 人以下が問題ではないことを強調するなら、「中学校でも 20 人以下では教育効果が期待できないとは言い切れない」という表現が適切。

##### 【結論】

- ・発言の趣旨を取り入れて再度検討する。

#### 〔4.3 学校適正配置計画策定の骨子〕

##### 【審議の概要】

- ・「学校配置を前倒しで」を「学校配置計画を」とすべき。

##### 【結論】

- ・指摘のとおり訂正する。

#### 〔4.4 中学校の「現状」と「適正配置の方針」〕

##### 【審議の概要】

- ・④「将来の生徒数の増減で決定することも仕方ないが」とあるが、特段の違いが見られなければ生徒数の増減で決定する以外ない。その後に「その理由を明確にする必要がある」とあるが、生徒数の増減以外に明確な理由はあるのか。
- ・「増減で決定することも仕方ないが」ではなく「仕方なく」とすればいいのではないか。
- ・結果的に生徒数の増減等で拠点校の方向を示す。ただそれだけではいけないことも後で意見として出されている。
- ・「関係校各分野で比較したが」とあるが、特定のケースであるため誤解が生じる。「関係校を各分野で比較して格段の違いが見られないケースがある」とすべき。
- ・①「以前統合が」とあるが、「これまでに」という表現が適切。
- ・③「地域に誤解が生じない」ではなく、地域としては基本的に学校を残してほしいという思いであるので、「誤解」よりは「混乱」という表現が適切。

##### 【結論】

- ・指摘のとおり訂正する。

#### 〔4.5 小学校の「現状」と「適正配置の方針」〕

##### 【審議の概要】

- ・③「住民の負担とならない通学体系」ではなく「保護者」ではないか。
- ・④「つながりがある地域」を具体的にしない方がいい。
- ・括弧書き全てを省く。地域的な部分は、口頭で説明するだけでいい。
- ・⑥「学校がなくなる地域」を書くなら、対象地域は全て書いておく必要がある。

- ・地域を入れるなら全て入れる必要があるため、括弧書きを省けばいい。
- ・⑤「適正な生徒数が育たなくなる」ではなく「確保」や「維持」が適切。

【結論】

- ・指摘のとおり訂正する。

〔4.6 学校適正配置の全体像〕

【審議の概要】

- ・③「心情的にも感情的にも心配される」とあるが、「心情面で心配される」が適切。

【結論】

- ・指摘のとおり訂正する。

〔4.7 学校適正配置の実施時期〕

【審議の概要】

- ・「全体的な意見」の部分で、「住民の声を考慮して」とあるが、住民の声だけではなく「保護者・住民」ではないか。保護者は住民でもあるが、ここでは「保護者」と「一般住民」とに区分した方が分かりやすい。また、このような意見が出されるのは住民より保護者からの可能性が高い。ここでは「保護者や住民の声」という字句に変更する方がいい。
- ・②「小学校と中学校を同時に統合」と事務局から提案するのか。
- ・学校行事に影響がある過小規模の小学校については、説明会で「小中一緒に統合」という意見があったら取り上げてほしいという内容だった。
- ・「理解が得られる」ためには行政から示す必要があるため、「保護者や地域から希望がでる」などの表現がいい。
- ・「説明の中で「小学校も統合」との要望があれば尊重して検討する」という形に変える。
- ・中学校の③で「地域から学年別に・・・要望があれば」とあるが、違和感がある。
- ・地域ではなく、子どもや保護者から意見がでると思われる。中学 3 年から学校が変わることの不安は大きい。そのため保護者も色々と研究している。地域からは、その意見はないと思うので「地域から」の字句を除く。

【結論】

- ・指摘のとおり訂正する。

○「3. 建議（審議会として付すべき意見）」の（3）について

【説明の概要】

「5 学校配置の進め方」の以下の項目ごとに審議した結果を建議としてまとめた。

- ①学校適正配置の全体像を町民に提示する
- ②住民説明会の開催
- ③適正配置準備協議会の設置
- ④児童生徒の交流促進
- ⑤適正配置の工程管理について
- ⑥学校配置後の学校施設の活用について

「6 参考資料」では、流れを整理した資料を追加する。

〔5 学校配置の進め方〕

【審議の概要】

- ・①「十和地区の例」という表記は、「これまでの事例を研究して」などの表記に変更。

- ・②第1項で語尾が「もらいたい。」となっている。表現を統一するほうがいい。
  - ・次の項目では、「各学校単位に複数回の説明」とあるが、一律に決めつけない表現がいい。
  - ・3つ目の項目では、「教育長以下教育委員」と表記している。教育委員会の組織構成上この表現はなじまない。そして「必要」より「望ましい」がいい。
  - ・「責任ある対応をせよ」とのことだった。表記を精査して変更する。複数回の表記は訂正する。
  - ・「教育長以下」の発言については、教育委員会は合議制であり、委員長や教育長の判断では決定できない。だから一緒に行った方がいいと思うので、是非これは守ってもらいたい。
  - ・教育委員会は責任をもって望むという意見である。文書の表現は、指摘の意見を入れて修正する。
  - ・③「教職員やPTAなどの同一機関」とある。教職員とPTAが並列に並んでいるのは不自然。
  - ・「それぞれの体制の中で論議し、持ち寄って決めていく」ということだった。そのような表現に修正するように検討する。
  - ・⑤の「工程管理」という言葉は、行政的で住民から反発を受けるようにも思う。合わせて、この審議会で「管理」ができるのかという問題がある。
  - ・計画（案）の中で「工程管理」となっているので、答申も同じ表現をしている。計画（案）の表現をかえるという意見もいい。
  - ・行政とは違う第三者機関に進み具合を公表しながら、停滞しないように見続けてほしい、とのことも含めて計画に入れている。それは管理にならないか。
  - ・工程管理となると最後まで責任をもつということか。
  - ・審議会条例で計画実施の審議も任務となっている。計画の進捗も見てもらいたい。
  - ・進捗予定や達成状況などの判断に関わるには責任が重過ぎる。その判断は、推進本部で行うべき。「計画の実施状況の確認」についてが、妥当ではないか。
  - ・⑥の「把案」を、「把握」に訂正。
  - ・②の第1項は削除するようにする。
  - ・⑥の第1項に「地域の合意を得るためにも」とあるが、この表現はないほうがすっきりする。
  - ・指摘のとおり訂正する。
- 【結論】
- ・⑤「工程管理」を「実施状況の確認」に変えるように計画（案）の字句を訂正する意見を付す。
  - ・その他指摘のとおり訂正する。

## ○「おわりに」と「参考資料」

### 【説明の概要】

「おわりに」を読んで説明。

### 【審議の概要】

- ・「一つの町になっても旧町村の意識の垣根・・・難しい」とある。「ただちに」を加える。
- ・「真に必要な」の前に具体的な思いや何を願っている計画かを表現してもらいたい。
- ・事務局で検討する。
- ・参考資料について名簿と審議の経過を添付する。

### 【結論】

- ・指摘のとおり訂正する。

## ◎「（2）答申方法について」

### 【審議の概要】

- ・今日の訂正は、主に字句修正。よって会長、副会長は、事務局と最終調整していただき、代表して答申していただきたい。

### 【結論】

- ・修正した内容を各委員に送付し異議がないことを確認する。

- ・確認後、会長、副会長が代表して町長へ答申する。

## 5. その他

- ・本日の議事録、及びこれまでの議事録要旨を早急に作成し送付する。
- ・訂正等がある場合は、期日までに連絡してもらいたい。
- ・それらを確認後、答申とあわせて全ての議事録をホームページへ公開するので了解をお願いする。

### ○会長あいさつ

計画（案）の審議結果を集約できた。本審議会の最初の課題である答申についてはこれで終わる。夜の開催で長時間審議をいただいた。大変苦労をおかけし、迷惑をかけた。このことは町長にも伝える。今後とも連絡を取りながら、本審議会委員の役割をこなすよう協力をお願いする。

### ○教育長あいさつ

5月28日を初回とし、足掛け4ヶ月、計6回の審議で迷惑をかけた。これかも実施状況の確認等でお世話になると思う。引き続いてご協力をお願いしたい。6回もご足労いただきありがとうございました。

## 6. 閉会